

1 研究の概要

(1) 研究主題

キャリアステージに応じた養護教諭の育成を支える講座・経年研修の在り方

(2) 主題設定の趣旨

平成27年12月に中央教育審議会は、「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について(答申)」の中で、「新たな知識や技術の活用により、社会の進歩や変化のスピードが速まる中、教員の資質能力向上は我が国の最重要課題」⁽¹⁾であると述べています。一方、「近年の教員の大量退職、大量採用の影響等により、教員の経験年数の均衡が顕著に崩れ始め、かつてのように先輩教員から若手教員への知識・技能の伝承をうまく図ることのできない状況があり、継続的な研修を充実させていくための環境整備を図るなど、早急な対策が必要である」⁽²⁾と示されています。

また、佐賀県教育委員会は平成28年度佐賀県教育施策実施計画において、子供の「生きる力」を育む教育を支える環境整備を目指しています。そのために、教育に対する使命感・情熱に加え、豊かな人間性や実践的な指導力を備えた教職員の確保・育成が必要であり、教職員のキャリアステージに応じた研修を行うことで、教職員の資質や実践的指導力の向上を図るとしています。

こうした中、平成26年度から教育センターで開始してきたキャリアステージに応じた養護教諭の研修体系においても、さらに、次の3点について見直す必要があると考えます。

1点目は、専門講座や経年研修が、キャリアステージごとの職務の知識・技能の習得、医学的知見や教育的知見の向上を図るための指導内容として有用であるか再考する必要があること。

2点目は、専門講座や経年研修が、子供を取り巻く生活環境の急激な変化に起因する、メンタルヘルスに関する問題、アレルギー疾患、薬物乱用の問題など、心と体の両面にわたる様々な健康課題解決に即応できる役割を果たしているか再考する必要があること。

3点目は、専門講座や経年研修が、佐賀県養護教諭の年齢構成の不均衡から生じる課題に対して、先輩養護教諭から若手養護教諭への知識・技能の伝承に有効に機能しているか再考する必要があること。

そこで、本研究では、キャリアステージに応じた研修体系の再構築と講座・経年研修の在り方や手法の見直しを行うことにしました。以上のことから本研究主題を設定しました。

(3) 研究の目標

キャリアステージに応じた養護教諭の育成を図るために、佐賀県教育センターにおける養護教諭研修体系の再構築と、講座及び経年研修の在り方や手法の見直しを図ります。

(4) 研究の方法

ア 平成 25、26、27年度経年研修及び平成 26、27、28 年度講座の受講者アンケートの整理、講座・経年研修内容の職務への活用の仕方や養護教諭の希望研修内容調査を行い、キャリアステージに応じた研修体系の再構築を行います。

イ 協議や演習及びメンター制度の考えを取り入れ、平成28年度の講座・経年研修を実施し、有効性を検証します。

(5) 研究の内容

ア 平成 25、26、27年度経年研修及び平成 26、27、28 年度講座の内容が、養護教諭の職務の基礎的知識・技能の習得や実践的指導力向上など、講座や経年研修におけるねらいに即しているかを検討し、経験年数に対応した研修の在り方を探ります。

イ 平成28年度に実施する講座・経年研修（新規採用養護教諭研修、養護教諭1年・2年経験者研修、養護教諭3年経験者研修、養護教諭10年経験者研修）において、協議や演習及びメンター制度の考えを取り入れ、研修後のアンケート調査の結果から、その有効性を探ります。

《引用文献》

- (1)(2) 中央教育審議会 『これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員養成コミュニティの構築に向けて～(答申)』 平成 27 年 12 月 21 日 pp. 2-3